



# みらい通信

## 第69号

発行元 NPO法人紫波みらい研究所  
連絡先 〒028-3318  
岩手県紫波郡紫波町紫波中央駅前1-2-2  
電話 019-671-2244  
FAX 019-671-2243  
Email miraiken@shiwa-mirai.com  
発行日 平成26年12月 2日(火)

## ■ モーッと知ろう！しわもちもち牛のこと

町民提案食育推進事業「親子で巡る紫波の農産物ツアー」第3弾は、紫波みらい研究所の会員でもある片寄地区の細川栄子さんの細川農場でもちもち牛のお話を聞かせていただきました。

今回の参加は4組の親子8名。まず牛舎で牛を見ながら、細川さんが、なぜ、もちもち牛を育てることになったのか、苦労したことや続けてきて良かったという話を聞きました。子どもたちは生まれたばかりの子牛に触り、その温かさに。その後、地区の公民館でもちもち牛を使った「ハッシュドビーフ」の作り方を教えていただきました。たまねぎを切る作業に、涙を流す子も。出来上がったハッシュドビーフを食べながら、いのちをいただく大切さを教えてもらいました。



## ■ 定例会の話し合いから来年度の事業について思う！

11月5日(火)、今年度、2回目となる定例会を開催しました。参加人数は、12人。役場の中田産業部長、環境課松村室長も参加し、急ぎよ、来年度の委託事業について、意見交換を行いました。現在、町では、町外からの循環型まちづくりやオガールエリアの視察が増えており、全国的にも注目をされています。そこで、町民にもさらにその内容を情報発信する必要があるのではないかという意見が出され、委託事業の内容も町民への情報発信を中心に実施することにしました。来年度の委託事業については、12月の理事会で決定し、会員には5月に開催される総会で報告することになります。本研究所では、委託事業のほかに自主事業も活発に行われています。会員の皆さんが日頃、考えていることを形にするチャンスです。どんなことでもかまいません。理事や事務局まで相談しに来てください。

本研究所は、百年後の子どもたちのためにと活動を続けてきましたが、子どもたちと高齢者、子どもたちと動植物などなど、これまでにないさまざまなものをつなぐ活動が今、求められているような気がします。



## ■ 今後のスケジュール

### ● 家族のためのおもいやり料理教室&食話会（平成26年度町民提案食育推進事業）

紫波の安全・安心な食材を使った家族のための料理を学びます。また、その料理にまつわるお話を聞き、家族に伝えていきます。

【日 時】 平成26年12月5日（金）午前10時30分から午後1時まで

【会 場】 オガールプラザ情報交流館 キッチンスタジオ

【内 容】 お赤飯と芋の子汁など

【講 師】 岩手県食の匠 吉田 正子さん（本研究所会員）

※ 調理補助のお手伝いしていただける会員を1人を募集します。

申し込みは、事務局までお願いします。電話 671-2244



### ● TOTO 東北販売㈱による“どんぐりの森づくり”活動のお手伝い

紫波町企業の森づくり活動で、長岡の森林を整備しているTOTO 東北販売㈱では、長岡小学校の児童（3年生）がどんぐりから育てる苗木を活動場所に植樹していきます。今年度は、児童が地元で拾ってきたどんぐりをポットや牛乳パックに植える作業を行います。

【日 時】 平成26年12月10日（水）午後1時45分から

【場 所】 長岡小学校

【内 容】 児童が地元で拾ってきたどんぐりを苗木ポットや牛乳パックに植えます。

【講 師】 紫波みらい研究所 事務局 佐藤

紫波町環境課循環政策室 阿部

※ 児童は20人です。植える作業のお手伝いをしてくださる会員を2人募集します。

申し込みは、事務局までお願いします。電話 671-2244

### ● 子ども会 体験型環境学習

環境の大切さを知ってもらうために、体験型環境学習を行います。

【日 時】 平成12月26日（金）午前10時から 約2時間

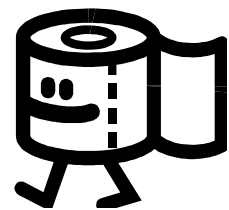
【場 所】 平沢上通り自治公民館

【内 容】 コネコネマイ石けんづくり  
トイレットペーパーの芯でつくる工作

【人 数】 約24人

※ 石けんや工作づくりのお手伝いをしてくださる会員を2人募集します。

事務局まで申し込みをお願いします。電話 671-2244



## ■ 年末年始のお休み

平成26年12月28日（日）から平成27年 1月 4日（日）まで

### 【編集後記】

平成26年もあと1ヶ月ありません。「この間、正月がきたと思ったのに」と言ったら、それはボケた？ のではと言われました。年々、体力や物覚えが悪くなります。もっと、子どもたちと触れ合う時間をたくさん取り、パワーをもらう必要があると感じました。今年度もお世話になりました。（S）